

平成 24 年度 静岡県の津波対策～静岡県津波対策検討会議関連～(H24.8 時点)

津波を防ぐ

約32.1億円

海岸堤防等は、施設の効果が粘り強く発揮できるよう整備を図る。

➢ 第4次地震被害想定を踏まえた防潮堤等の施設高の把握

➢ 最大規模の津波にも破壊されない粘り強い構造への補強

➢ 整備に必要な財源の確保

津波対策施設整備の推進

津波防御施設整備の推進

- ➡ 整備中箇所の早期完成
- ・防潮堤や河川堤防等の整備
- ・水門の遠隔操作化
- ・河川堤防や水門の耐震補強 等



津波避難施設整備の推進

- ➡ 整備中箇所の早期完成
- ・海岸、港湾・漁港、土砂災害防止施設、県立学校における津波避難用階段等の整備

※県の既存整備事業を含む
※市町の整備事業費を含む **29.3億円**

津波対策施設の整備方針の検討

第4次地震被害想定等を踏まえた防潮堤等の施設高の検討

- ➡ 第4次想定による津波高や過去の津波痕跡等を踏まえ、施設高を見直し

防潮堤等の質的強化策の検討

- ➡ 東日本大震災での施設被害を踏まえ、施設高を上回る津波に対しても粘り強い効果を発揮できるような構造への補強策の検討

2.8億円

津波に備える

約49.6億円

避難場所、避難施設、避難路・避難階段、津波避難ビルなど、安全な避難空間の確保を図る。

素早い避難の確保をアシスト

➢ 避難場所の確保

➢ 避難路の確保・整備

➢ 避難誘導標識等の整備

➢ 被害想定等の見直し

防災体制の強化

第4次地震被害想定の方策

平成 25 年 6 月策定・公表



地震対策アクションプログラム 2006 の進捗管理

第3次想定での死者数の半減 5,851 人 ➡ 2,954 人

1.5億円

避難誘導標識等の整備

津波誘導標識等の整備 (+4,099 箇所)

②2,799 箇所 ➡ ③9,833 箇所 ➡ ④13,932 箇所(累計)



0.4億円

災害時要援護者の避難支援

災害時要援護者避難支援計画の推進



0.01億円

地域防災力の強化

地震防災に関する対話集会等の実施



津波避難台帳の整備

津波避難に関する学校(幼・保)との連携の検討

0.8億円

津波避難行動計画の策定

津波避難計画(避難マニュアル等)の見直し

3.1億円

津波避難施設の確保・整備

津波避難ビルの指定 (+239 棟)

②508 棟 ➡ ③1,085 棟 ➡ ④1,324 棟(累計)



津波避難タワーの設置 (+38 基)

②7 基 ➡ ③11 基 ➡ ④49 基(累計)

津波避難マウント(命山)の設置 (+4 箇所)

②3 箇所 ➡ ③3 箇所 ➡ ④7 箇所(累計)

3.4億円

避難路の確保・整備

避難路の新設 (+16 箇所)

②166 箇所 ➡ ③187 箇所 ➡ ④203 箇所(累計)



避難路誘導灯の整備 (+25 箇所)

②4 箇所 ➡ ③91 箇所 ➡ ④116 箇所(累計)

9.3億円

津波ハザードマップの作成

津波ハザードマップの見直し、配付

0.4億円

津波から逃げる

約2.3億円

津波避難に関する多様な情報伝達手段を整備する。

➢ 迅速・的確な情報伝達・避難誘導

➢ 津波に対する住民意識の啓発等

➢ 被害状況・避難状況・安否確認の把握

迅速・的確な情報伝達

防災ラジオの配付数 (+22,433 台)

②91,534 台 ➡ ③117,681 台 ➡ ④140,114 台(累計)



同報無線子局の設置数 (+24 基)

②4,360 基 ➡ ③4,376 基 ➡ ④4,400 基(累計)

エリアメールの導入 (+4 市町)

②4 市町 ➡ ③16 市町 ➡ ④20/21 市町



住民へのメール配信システムの整備 (+1 市町)

②15 市町 ➡ ③16 市町 ➡ ④17/21 市町

1.7億円

住民意識の啓発

講演会の開催 (294 回)

③513 回 ➡ ④294 回



地域防災リーダー要請講座の開催 (47 回)

③53 回 ➡ ④47 回

地域イベント等における啓発活動 (291 回)

③353 回 ➡ ④291 回

0.1億円

情報収集体制の強化

監視カメラの設置 (+5 台)

0.5億円

避難訓練の実施

津波避難訓練の実施(市町実施)

③115 回 ➡ ④103 回

うち夜間津波避難訓練の実施

③3 回 ➡ ④4 回



うち災害時要援護者訓練の実施

③30 回 ➡ ④30 回

訓練での課題や問題点に対する助言等のフォロー(保育所)

0.01億円

最も有効かつ重要な津波対策

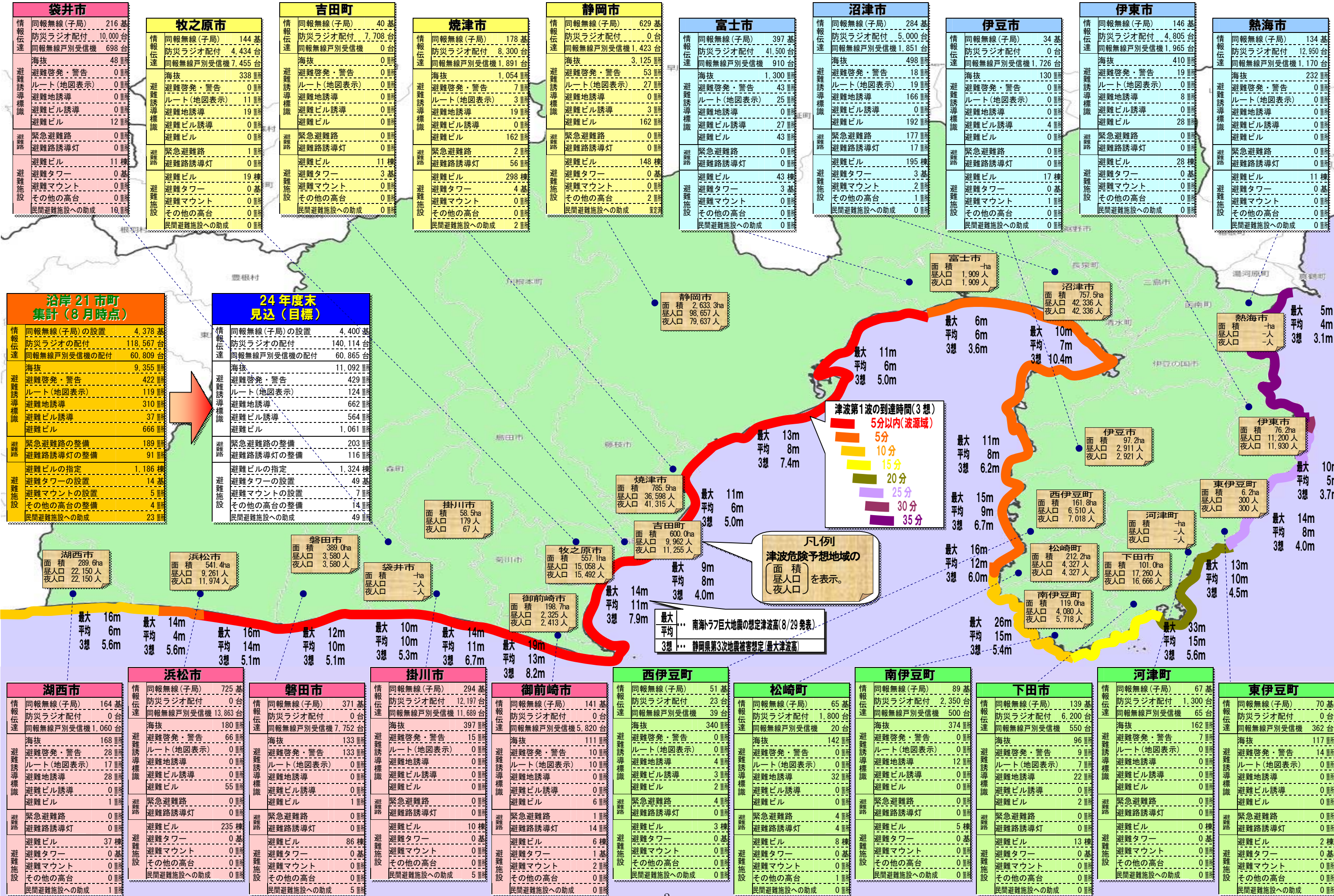
「素早い避難」

迅速かつ主体的な避難行動

アシスト

アシスト

沿岸 21 市町の津波対策 (H24.8 現在)



津波対策アクションプログラム（短期対策）による緊急整備の状況

◇APNo. 8-1 耐震水門への「避難用階段」の設置

階段整備箇所



「須々木水門（牧之原市）」



「湯日川水門（吉田町）」

◇APNo. 8-2 海岸堤防への「避難用階段」・「避難誘導看板」の設置



「静岡海岸（静岡市）」

津波対策アクションプログラム（短期対策）による緊急整備の状況

◇APNo. 8-3 (港湾・漁港) 既設堤防等への「避難階段・避難ステップ」の設置



「妻良漁港（南伊豆町）・防潮堤階段工 海側」



「妻良漁港（南伊豆町）・防潮堤階段工 内陸側」



「御前崎港（御前崎市）」



「田子の浦港・吉原陸側階段（富士市）」

津波対策アクションプログラム（短期対策）による緊急整備の状況

◇APNo. 8-4 港内への「避難誘導施設（非常用照明・避難誘導標識等）」の設置



「焼津漁港（焼津市）」



「焼津漁港（焼津市）」

◇APNo. 8-5 津波被害が予想される県立学校校舎（3階建）への避難階段の整備



「浜松湖南高校 避難階段（浜松市西区）」



「浜松湖南高校 誘導看板（浜松市西区）」

津波対策アクションプログラム（短期対策）による緊急整備の状況

◇APNo. 8-6 既存急傾斜地崩壊防止施設（15箇所）への津波避難階段等の整備

